

NEWS RELEASE

2010年11月24日

在日フランス大使館 対仏投資庁

<http://www.investinfrance.org/jp/>

**対仏投資庁 (AFII)、第7回 「日仏投資賞」授賞式を実施
対仏投資に貢献の日本企業と対日投資に貢献のフランス企業を選出**

日本企業のフランス進出に関する様々な活動・情報支援を行うフランスの投資機関、対仏投資庁 (AFII) は、本日、フランス大使公邸にて「第7回 日仏投資賞授賞式」を執り行いました。式典には、駐日フランス大使 フィリップ・フォル大使および 対仏投資誘致担当大使・対仏投資庁長官 ダヴィッド・アピアが出席し、日仏両国の経済に大きく貢献したとされる日本企業とフランス企業を各1社選出したことを発表しました。

式典に先立ち、駐日フランス大使は開会の辞を述べ、日仏相互の投資の重要性を強調し、フランスが「世界第2位の対日投資国であること、また、海外直接投資受け入れ国としてユーロ圏で第1位」であることを言及しました。

審査員を代表して、日仏クラブ、日本側議長を務める、株式会社資生堂 名誉会長 福原義春氏より乾杯の辞が述べられ、式典の幕が閉じられました。

対仏投資部門では「ユニクロ」で知られる衣料品製造小売業、株式会社ファーストリテイリングに、対日投資部門ではサンゴバンに賞が授与されました。各企業の概要と受賞理由、また受賞コメントに関しましては別紙をご参照ください。

日仏投資賞授賞式は、直接投資により両国の経済発展に著しく貢献した企業を表彰するもので、2004年より年に1度執り行われています。

今回で2度目の日本公式訪問となる対仏投資庁長官ダヴィッド・アピアは、株式会社ファーストリテイリング上席執行役員堂前宣夫様に賞を授与し、対仏投資の成功例として称えました。また、この機会に日本企業を訪問し、企業トップの方々と面談を行い、対仏投資プロジェクトの支援と、フランスの新しいビジネス環境について紹介しました。

対仏投資庁(略称 AFII)

フランスへの国際投資誘致、進出企業向け支援を担当する国の機関。全世界におよぶネットワークで機能し、フランス全土の地方経済開発局との連携により、外国企業にビジネスチャンスを提供、ニーズに応じたサービスを提供している。詳細情報はウェブサイトをご参照ください。<http://www.investinfrance.org/Japan/>

詳細については、以下へお問い合わせ下さい。

在日フランス大使館 対仏投資庁日本事務所 広報担当

ジェレミ・エルヴェ (Jérémy HERVÉ) TEL : 03-5798-6144 (直通) E-mail : jeremy.herve@investinfrance.org

松木 麻子 TEL : 03-5798-6149 (直通) E-mail : asako.matsuki@investinfrance.org

受賞企業概要

企業名	企業概要と受賞理由	授賞のコメント
◆対仏投資における貢献企業		
<p>株式会社ファーストリテイリング</p> <p>2010年 対仏投資賞</p> <p>代表取締役会長兼社長： 柳井 正 氏</p> <p>本社所在地： 山口県山口市 佐山</p> <p>設立：1963年5月</p> <p>従業員数(連結)：11037人 従業員数(フランス)：2011人</p>	<p>グループの中核を担うカジュアルウエアブランド「ユニクロ」として広く知られているアパレルメーカー。1984年、広島での1号店オープンから急速に成長し、現在では既成靴ブランド(Candish)を含めた複数事業を展開するまでに大きく成長を遂げた。</p> <p>2005年、仏婦人服ブランド「コントワーデコトニエ」、仏ランジェリーブランド「プリンセス タム・タム」を買収し現地に子会社を設立。同拠点設置の目的は、仏ブランドの日本における展開と「ユニクロ」をパリから欧州全域に拡大していくことであった。</p> <p>2007年パリ、ラ・デファンス地区に「ユニクロ」パリ1号店をオープン。2009年10月、パリ・オペラ座のあるオスマン大通りに大型店舗をオープン。これにより、フランスで「ユニクロ」の知名度が急上昇。その驚くべき成功は、開店を待つ人々の長蛇の列を見れば明らかである。</p> <p>オペラ座店オープンを皮切りに、パリで約10店舗を開業、その後フランス全域に拡張し、ゆくゆくは欧州全域に広めていきたいとの意向を表明している。また2010年「カジュアルウエアの世界ナンバーワン」になるという大きな目標を掲げている。</p>	<p>(株式会社ファーストリテイリング、上席執行役員 堂前宣夫様より)</p> <p>この度は、対仏投資賞の栄誉にあずかり、心より御礼申し上げます。</p> <p>私どもファーストリテイリンググループは「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」を実現するため、事業のグループ化グローバル化を推進しております。フランスは、世界のファッションの中心であり、我々にとりましては、最も重要な国の一つでございます。</p> <p>数年前、フランスを代表するブランドである「コントワーデコトニエ」「プリンセスタムタム」をグループに迎え入れ、さらに、昨年は「ユニクロ」の旗艦店を出店するなど、私どもはフランスにて事業拡大を加速させております。お陰様で、ユニクロオペラ旗艦店は、昨年10月の開店以来、パリのお客様に温かくお迎えいただき、成功をおさめております。</p> <p>私どもがこのような活動を行っておりますのも、フランス政府をはじめ地元関係者の皆様のご厚意のおかげと、大変感謝いたしております。今回の受賞を大きな励みとし、服を通じて、フランスの人々の豊かな生活に貢献していきたいと思っております。今後とも、ご支援賜りますよう、心よりお願い申し上げます。</p>
◆対日投資における貢献企業		
<p>サンゴバン</p> <p>2010年 対日投資賞</p> <p>会長兼CEO：ピエール・アンドレ ドゥ シャランダール氏</p> <p>本社所在地：フランス、パリ 設立：1665年</p> <p>従業員数：190 000人 従業員数(日本)：800人</p>	<p>住まいと建築市場におけるグローバルリーダー。地球温暖化や環境保護といった地球規模の問題に対処しうる革新的なソリューションを提供している。2009年時点で売上高378億ユーロ、世界64カ国で19万人を超える従業員が活動している。</p> <p>グループの歴史は17世紀ルイ14世の蔵相ジャン・バティスト コルベールが王立鏡面ガラス製作所を創設したことから始まり、現在製造業では世界最古の企業の一つである。</p> <p>また日本では1980年代半ばより、多岐にわたる分野で国内企業と合併会社を設立し、事業を展開。日本は品質重視の競争市場であり、グループの技術革新の導入に優れており、省エネソリューションも今後大きな成長の可能性がある。日本国内にあるサンゴバンの7つの工場では、高機能材料(セラミックス、プラスチック、研磨材)、断熱材を生産している。その他にもグループが特に専門とする建築用・自動車用ガラス、ソーラーパネルなど、幅広い商品をお客様へ提供している。</p>	<p>(サンゴバングループ、断熱材事業部プレジデント、ブノワ・カルパンティエ様より)</p> <p>この度は「対日投資賞」受賞の栄誉にあずかり、サンゴバングループを代表して心より御礼申し上げます。</p> <p>弊グループは日本を、断熱市場のグローバルリーダーであるサンゴバン・イゾペールのソリューションを活かせる成長市場として捉えております。</p> <p>日本断熱市場のリーディングカンパニー、マグ・イゾペール(株)は国内(関東、関西)に3つの製造拠点をもち、創業当時よりサンゴバンのテクノロジーを活用して生産を行っています。そして今後もグループの環境分野の技術基盤、各種断熱材・建材の組み合わせによるトータルなソリューション提案力やネットワーク力など、シナジー効果を最大限に引き出し、日本の皆様のクオリティオブライフの向上のため、取り組んで参ります。</p>